

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－
	○	百貨店（経営担当）	・母の日のギフト需要やゴールデンウィーク期間の地元客及びインバウンドの来客数が増加すると見込んでいる。
	○	コンビニ（経営者）	・近隣スーパーが移転したため、野菜類を陳列したところ年配の来客数が増加している。
	○	コンビニ（店長）	・来客数が前年比では一旦下げ止まりをみせたが、直近では上昇の気配をみせているため、今後2～3か月は景気が良くなるとみている。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・観光客が増加するとみている。
	○	一般レストラン（代表者）	・人流が良くなっており、5月までは来客数が増加し、ゴールデンウィーク後から緩やかに減少するとみている。
	○	住宅販売会社（役員）	・夏に沖縄県北部の大型レジャー施設がオープン予定となっており、北部地区の不動産供給が活発化しつつある。経済効果も期待できるとみている。
	○	住宅販売会社（営業担当）	・個人住宅の建売の前向きな問合せが増加している。一方で、土地の不足により、注文住宅は減少している。金利の先高観もあり、消費者マインドの変化が起きているとみている。
	□	商店街（代表者）	・街中は、飲食店が増加しており、物販が厳しい状況のため、店によって来客数にばらつきがみられる。全体的には景気は余り変わらない状態になっているとみている。
	□	スーパー（企画担当）	・2～3か月先も物価上昇が続くことで、単価の上昇と節約志向による販売数の減少が続くため、景気は変わらないとみている。
	□	コンビニ（経営企画担当）	・値上げによるコンビニ離れを不安視していたが、マイナスの影響は出ていない。しかし、価格が購買に影響を与えており、売上の構成が変化している。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は、新しいシーズンに入るため、売上増加を期待していたが、例年より客数が非常に少ない状態であることから、景気はまだ良くなしないとみている。
	□	衣料品専門店（経営者）	・現在の物価やエネルギーの高騰、円安などの社会情勢が続くようであれば、何らかの対策を行わない限り、景気が上向くとは考えられない。
	□	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は前年並みに推移しており、大きな変化はなく今後もこの傾向が続くとみられる。
	▲	家電量販店（営業担当）	・前年6月から沖縄県が実施していたキャンペーンの対象商品であるエアコン、冷蔵庫の反動減が大きいとみている。
	▲	旅行代理店（マネージャー）	・世間では賃上げなど景気の良い話もあるが、企業としては単純に固定費が増えるため、出費を抑えるべく出張等の項目から削られている。物価の上昇傾向により個人消費もすぐには上向かないとみている。
	▲	観光名所（職員）	・物価上昇で旅行意欲が低下しているとみている。一方で、大阪・関西万博の影響も出てくるとみている。
	×	その他飲食店〔バー〕（経営者）	・近所の20年続いた飲食店が2軒閉業しており、飲食業は厳しい状況である。来月から値上がりする品目も多く、景気が良くなる要因がみられない。
	×	観光型ホテル（企画担当）	・3月の販売室数が前年比8％増加なのに対し、6月の予約室数は前年比30％減少とマイナスに転じている。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－
	○	食料品製造業（役員）	・観光客は増加傾向が続くとみられ、ゴールデンウィーク需要もあいまって食品関連の需要増加を期待している。
	○	窯業土石業（取締役）	・次年度の上半期までは工事受注の見込みがあり繁忙が予想されるが、原材料価格の高騰等による製造原価上昇で収益面が懸念される。
	○	輸送業（経営企画室）	・北部の大型レジャー施設が開業し、観光需要の増加による景気的好転に期待している。
	□	広告代理店（営業担当）	・県内企業の販売促進予算は、資材及び人件費コスト増加の影響により増額する兆しはみられない。
	▲	－	－

	×	コピーサービス業（営業担当）	・業者間の競争激化が影響するとみている。
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	*	*
	□	人材派遣会社（総務担当）	・物価上昇が続くなか、景気の回復は難しいとみられる。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・報道では、景気対策の必要性をよく耳にするが、実生活で実感するまでは容易なことではないとみている。現状がまだ続くとみている。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・派遣先の状況や周辺企業から、景気低迷の話をする経営者が増加している。
	▲	求人情報誌製作会社（営業）	・3月が求人数のピークとみているため、やや減少するとみている。ただし、ゴールデンウィークの短期採用や夏シーズン向けの求人など、ふだんとは違ったニーズを見込んでいる。
	▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	・新卒の就職活動が前倒しになっていることで、前月から多くの求人や問合せを受けている。そのため、求人数が減少することも前倒しになるとみている。
	×	—	—